

# 第 51 回 埼 玉 県 学 校 事 務 研 究 大 会

大会テーマ「豊かな環境を確かな支援で～学校事務の可能性は∞～」

—財務—

今年度から大会テーマが「豊かな環境を確かな支援で～学校事務の可能性は∞～」となりました。このテーマは同じく今年度から始まる第四次研究中期計画のテーマでもあります。近年、学校を取り巻く環境は、様々に変化し、未来は予測不能とも言われるようになっていきます。そのような中、学校事務の在り方も時代に合わせて可能性を拓くことで、学校教育の充実・発展に寄与し、未来を担う子供たちの豊かな育ちへとつなげていこうではないかと考えテーマを設定しました。

今年度の年次別課題は、「財務」です。平成29年3月の学校教育法の改正により、学校事務職員の職務は「事務に従事する」から、「事務をつかさどる」に変わりました。同時に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、「共同学校事務室」に関する規定が、新たに追加されました。県教育委員会からは、「共同学校事務室」を設置する市町村教育委員会に対する支援を進めるための基本方針が各市町村教委へ通知されました。

働き方改革では、中央教育審議会において「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」が取りまとめられ、様々な業務改善が進められようとしています。

県内の学校事務職員の財務へのかかわり方は様々ですが、これからの事務職員は財務・情報・地域の分野でその専門性を発揮していくことが重要ではないかと考えます。予測不能の未来を生き抜いていく子供たちのために埼玉の学校事務職員として何ができるか考え、実践していくことが必要と考えます。

本研究大会を通して、これからの学校事務の可能性について会員の皆さんとともに考えたいと思います。ご協力をお願いします。

\*\*\*研究発表\*\*\*

## 豊かな環境を確かな支援で～学校事務の可能性は∞～

— 財務 —

\*\*\*

第四次研究中期計画では、「財務」「施設・設備」「地域協働」「組織運営」「キャリアマネジメント」の年次別課題を設定し、教職員が教育における本来の役割に専念し、豊かな学びの環境の下で、子供たちだけでなく学校にかかわる全ての人が生き生きと活動していくための学校事務の可能性を追究していきます。初年度となる今回は、「財務」がテーマです。様々な財務へのかかわり方を例に事務職員の専門性を発揮することができるのか提案します。

### 研究協議

柱1 これからの学校における事務職員の役割

柱2 みんなで考える それぞれのはじめの一步